

新潟市大規模建設事業評価監視委員会における委員意見及び対応方針

防災・震災対策による災害に強い住まいづくり(第4期)【事前評価】

項目	委員意見	対応方針
① 意見・要望	<p>今回、長寿命化計画の見直しを行ったということであるが、それによりトータルでの屋上防水改修工事の成果指標における対象棟数の変化にどのような影響があったのか教えていただきたい。</p>	<p>長寿命化計画の改定を行う中で、直近の点検結果や入居状況、今後の市営住宅の管理のあり方等を考慮し、ニーズや優先順位の調整を行い、成果指標における対象棟数を設定しました。</p>
② 意見・要望	<p>効果促進事業の津波のハザードマップ作成について、どのようなものを考えているか。西区は昨年度に津波ハザードマップが完成し、各戸配布されているが、その他に土砂災害等をひっくるめた総合的なハザードマップが存在していて、本計画ではそのうちの津波のハザードマップのみを作成するという事によろしいか。</p>	<p>令和5年に津波災害警戒区域の指定を受けたことや、令和6年能登半島地震を契機に、西区に限らず、津波からの避難行動や浸水範囲についてあらためて周知していく必要があると考え、本計画の中で検討を進めていくこととしています。なお、新潟市は想定されている災害の種類が非常に多いため、現在構想しているのは各種ハザードマップを取りまとめた総合ハザードマップの更新ですが、そのうち、本計画に紐づくものとして津波ハザードマップを挙げています。</p>
③ 意見・要望	<p>公共事業の評価というのは、予算の執行率や、何をどれだけ造りましたみたいな評価が多く、それも仕方がないと思うが、この数値を出すなら、数値と効果がリンクしているところをお示しいただけると理解が進むと思うので、ぜひご検討いただきたい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に適切な評価手法等を検討し、次回評価に反映いたします。</p>